

#VRChat.vim

1ファイルから始めるNeovimプラグイン

こまもか

✨ Vimプラグイン、作ってみたいですね

Vimを使っているなら自作Vimプラグインに憧れますよね。

そこで今回は1ファイルからプラグインを作る方法を紹介します。

今回はNeoVimでLuaを使った方法を紹介しますが、VimでもVimScriptを使って似たような方法でプラグインを作ることができます。

? NeoVimプラグインってどうやって作るの？

Vim/NeoVimプラグインの実態は `runtimepath` 上に配置されたスクリプトです。
つまり、自分が書いたスクリプトを `runtimepath` 上に配置すればそれがプラグインになります。

実際に作ってみよう

プラグインを作る際のポイント

Neovimにおいて `lua` というディレクトリは特殊であり、`require()` で `lua` ディレクトリのファイルを読み込むことができます。

またNeovimのプラグインは慣例的に `setup()` という関数を呼び出してNeovimに読み込ませます。

例えば自分が作った`runit.nvim`の場合はこんな感じです。

```
local function matcher(ext, executors)
    local current_file = " " .. vim.fn.expand("%:t")
    return executors[ext](current_file)
end

local function runit(executors, terminal)
    if terminal == nil then
        terminal = "terminal"
    end

    vim.cmd(":vsplit")
    vim.cmd(": " .. terminal .. " " .. matcher(vim.fn.expand("%:e"), executors))
end

local function setup(terminal, executors)
    vim.api.nvim_create_user_command("RunIt", function()
        runit(terminal, executors)
    end, {})
end

return {
    setup = setup,
}
```

`setup()` 内にコマンドの設定などを書いておくと、`setup()` 関数が呼び出された際にコマンドの定義処理が実行されます。

もしコマンドを定義せずに、ユーザーに関数だけを公開させたい場合は以下のように書けばユーザーが `require()` して呼び出せます。

関数をexport

```
-- sample.lua

local function feature()
end

local function feature2()
end

return {
    feature = feature,
    feature2 = feature2
}
```


exportされた関数をimport

```
sample = require("sample.lua")
```

```
sample.feature()
```

```
sample.feature2()
```

ちなみに

この仕様を使うと、Vimの設定を小分けにすることが出来るのでファイル数が多くなってきたのが気になっている方はモジュール形式にして小分けにするのがオススメです。

自分の設定例

```
lua
├── comatools
│   ├── init.lua
│   ├── lazyload.lua
│   └── scheme.lua
└── configs
    ├── catppuccin.lua
    ├── cmds.lua
    ├── (省略)
    ├── skkeleton.lua
    └── splash.lua
```

こんな感じで自作したプラグインもどきを `comatools` に、プラグイン固有の設定などは `configs` に配置しています。

こうする事で、`init.lua` で設定ファイルを読み込むかどうかを簡単に制御することが可能です。

init.luaの冒頭

```
require("configs/cmds")
require("configs/keybind")

-- require("configs/splash")

require("comatools/lazyload")
require("comatools/kit")
require("comatools/cloma")
```

まとめ

- NeoVimプラグインは1ファイルからでも書くことができる
- Luaのexportは `return` を使う
- 自作プラグインをプラグインマネージャでインストールすると脳汁が出るのでオススメ